

空餘昔日凌霜色長  
與澄潭生晝寒

二月末日書

成家  
松原華月

空餘昔日凌霜色  
長與澄潭生晝寒

二月末日書

成家  
堀和光

空餘昔日凌霜色長  
與澄潭生晝寒

二月末日書

師範正  
榎澤美奈

空餘昔日凌霜色長  
與澄潭生晝寒

二月末日書

師範正  
山口裕華

空餘昔日凌霜色長  
與澄潭生晝寒

二月末日書

師範  
永野扶美恵

空餘昔日凌霜色長  
與澄潭生晝寒

二月末日書

師範  
原田清雪

空餘昔日凌霜色  
長與澄潭生晝寒

二月末日書

師範  
大石玉翠

空餘昔日凌霜色  
長與澄潭生晝寒

二月末日書

師範  
松永里美

空餘昔日凌霜色長  
與澄潭生晝寒

二月末日書

準師範  
池田静玉

空餘昔日凌霜色  
長與澄潭生晝寒

二月末日書

三段  
道下凜花

空餘昔日凌霜色長  
與澄潭生晝寒

二月末日書

二段  
梶村美月

空餘昔日凌霜色  
長與澄潭生晝寒

二月末日書

3級  
新宮明子

方蒙落髮於是砥行  
飭躬架德緝道篋蚘

師範正  
村內綽子

而識韻恬爽聰悟絕  
羣曾不浹旬誦涅槃

師範正  
榑藤陽子

而識韻恬爽聰悟絕  
羣曾不浹旬誦涅槃

師範正  
重松周華

而識韻恬爽聰悟絕  
羣曾不浹旬誦涅槃

師範正  
藤秀月

而識韻恬爽聰悟絕  
羣曾不浹旬誦涅槃

成家  
榑井末美

而識韻恬爽聰悟絕  
羣曾不浹旬誦涅槃

成家  
安仲夕蟬

以為神童逮乎初卅  
方蒙落髮於是砥

三段  
佐々木隆道

而識韻恬爽聰悟絕  
羣曾不浹旬誦涅槃

五段  
高森美奈子

而識韻恬爽聰悟絕  
羣曾不浹旬誦涅槃

師範  
福沢由美子

舉衆嗟駭以為神  
童逮乎初卅方蒙

師範  
佐田英一郎

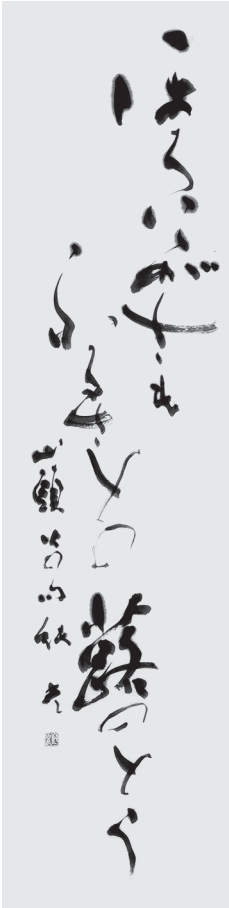
而識韻恬爽聰悟絕羣曾不浹  
旬誦涅槃二表舉衆嗟駭以為  
為神童逮乎初卅方

師範  
佐藤銀川

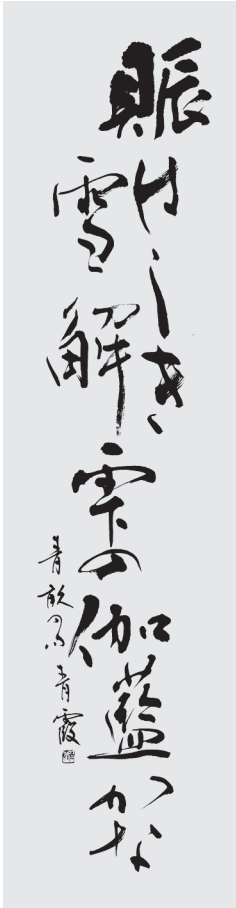
而識韻恬爽聰悟絕  
羣曾不浹旬誦涅槃

師範正  
熊谷壽香

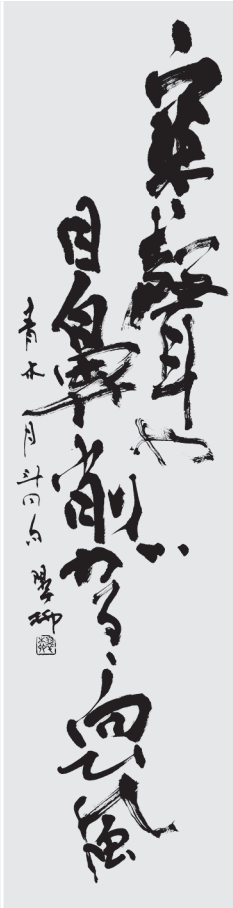
条幅随意优秀作品 (2月末日締切分)



師範正  
鹿毛純光



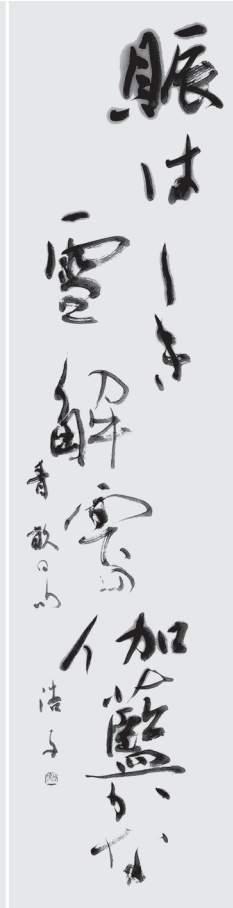
師範正  
古村青霞



師範正  
重富翠柳



成家  
伊良子喜代



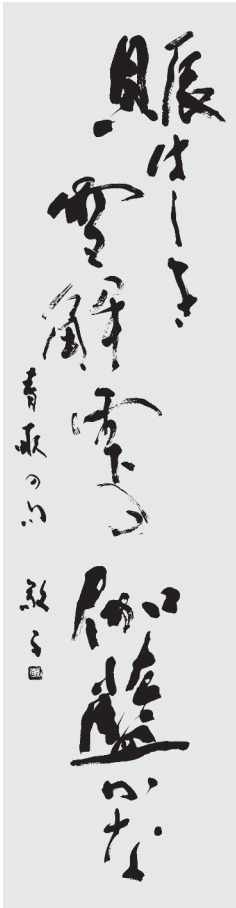
成家  
阪井浩子



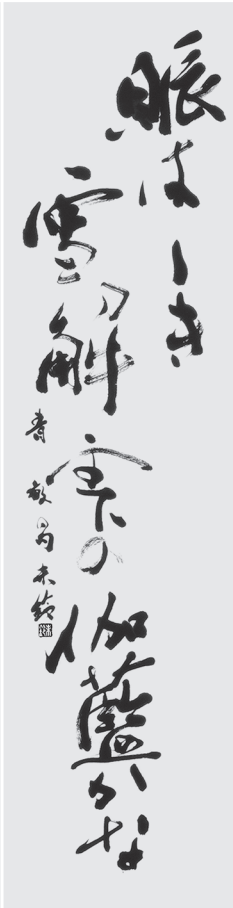
成家  
足立和子



準初段  
阿南真由美



準師範  
鎌田敬子



準五段  
小川未鈴



師範  
吉中裕子

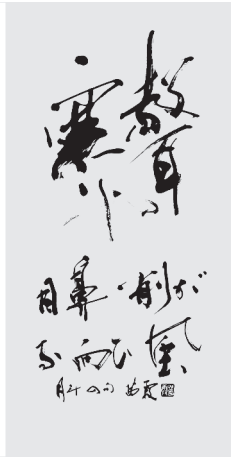


師範  
身深俊子



師範正  
末森水苑

条幅随意(半折½縦)・学生部条幅¼ 優秀作品 (2月末日締切分)



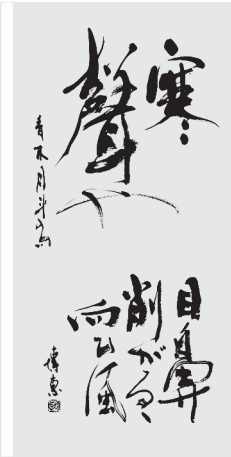
六段 宮崎 茜霞



師範 久保 象雲



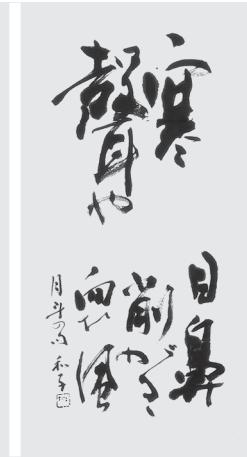
師範正 小野 清舟



師範正 久保 博恵



成家 小村 佳将



成家 川上 和子



小4.二段 北村 そよ薫



小3.初段 山崎 茉奈



小3.2級 河津 華奈



小2.準6級 永瀨 きい



小2.4級 島松 いち花



小1.8級 平田 愛真



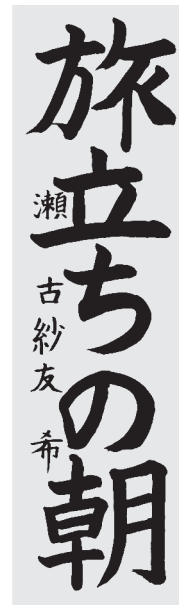
小1.準8級 神 ゆりか



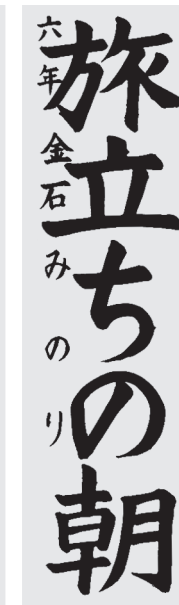
中1.特待生 伊東 美羽



中2.特待生 高橋 知暉



小6.準二段 瀬古 紗友希



小6.五段 金石 みのり



小5.五段 宮崎 芽生



小5.準六段 野津 日向子



小4.2級 大庭 結愛

半紙規定優秀作品 (2月末日締切分)



師範正 川久保由香里 師範正 権藤陽子 師範正 登本花徑 師範正 岡紅華 成家 植井末美 成家 木下美鳳 成家 阪井浩子



師範 宮崎明美 師範 大石玉翠 師範 實政光瑠 師範正 中村美翠 師範正 手島景星 師範正 宮本虹鶴 師範正 中村小夏



師範 山田登之 師範 伊良子真紀 師範 松永里美 師範 古田典子 師範 齋藤一二美 師範 田原綾泉 師範 福沢由美子



五段 坂田真澄 準六段 本郷八蘇 六段 三原祝子 六段 濱崎秀代 準師範 藤岡昌子 準師範 飯村貴子 準師範 松山紫苑



準二段 重岡三枝子 準三段 増永佐代子 準三段 山下有香 三段 草場純子 準四段 川内燦華 四段 河部千鶴子 準五段 川村美華

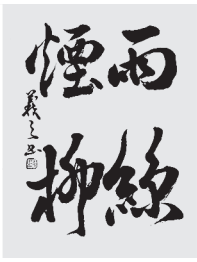


準7級 室川絵里奈 6級 田中春好 準4級 西岡乃愛 4級 安倍佳子 準3級 鈴木輝善 3級 岡村美穂子 準2級 加來喜代子

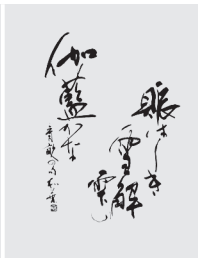
半紙随意・半紙随意(臨書)優秀作品 (2月末日締切分)



師範正  
上津原 踏月



師範正  
小野 義之



師範正  
尾崎 和葉



師範正  
熊谷 壽香



師範正  
黒岩 三溪



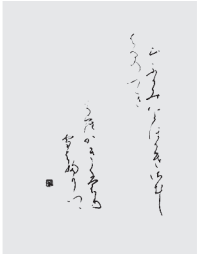
成家  
幸 彩華



成家  
茶 圓光 嘩



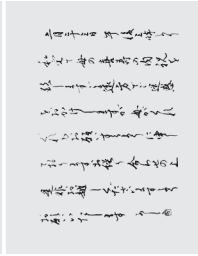
師範  
松永 美 貂



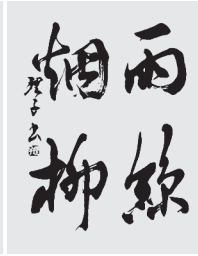
師範  
井上 玲 秀



師範  
永谷 瑤 春



師範  
身深 俊 子



師範  
佐田 理 子



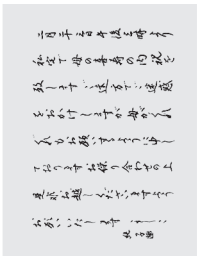
師範  
安部 光 風



師範  
江口 翠 葉



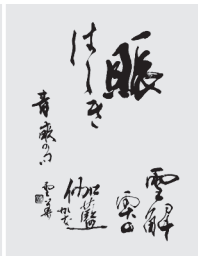
準五段  
白濱 かずみ



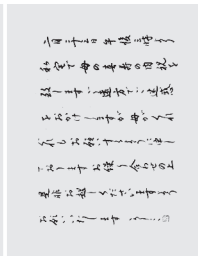
準五段  
廣瀬 純 子



五段  
内田 節 子



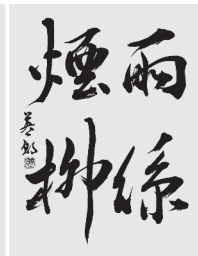
準六段  
藤川 雪 華



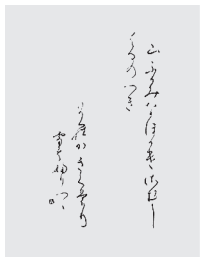
準師範  
横地 文 華



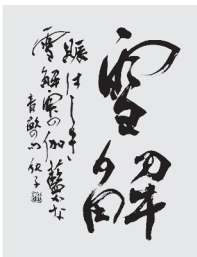
準師範  
加来 千 明



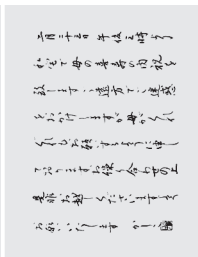
師範  
佐田 英 一郎



三段  
戸田 啓 子



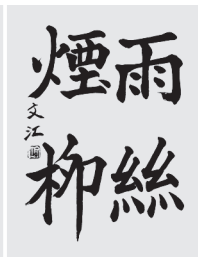
三段  
倉光 純 子



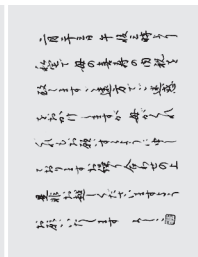
準四段  
赤峰 八重子



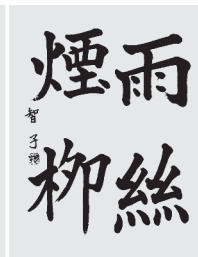
準四段  
松崎 英 司



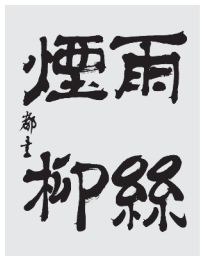
四段  
三島 文 江



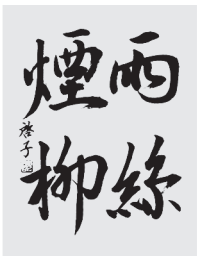
四段  
梶本 直 子



準五段  
小林 智 子



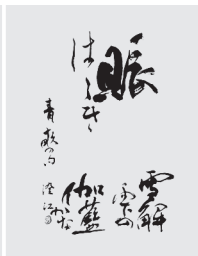
準5級  
寺地 都



5級  
勝目 啓 子



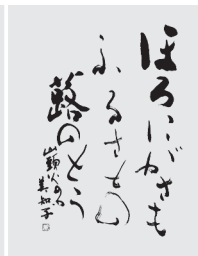
初段  
重藤 順 子



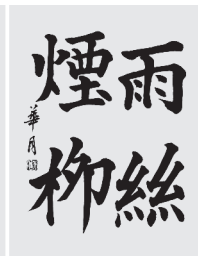
準二段  
吉浦 澄 江



準三段  
山口 寛 子



準三段  
杉万 美知子



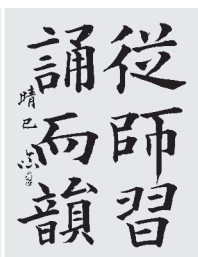
準三段  
松本 華 月



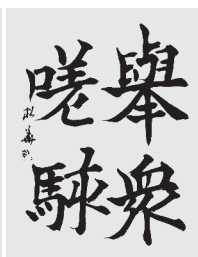
師範正  
藤塚 真 弓



師範正  
佐田 馨 春



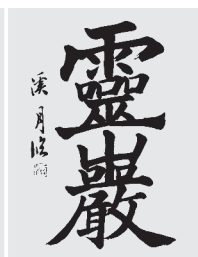
師範正  
坂田 晴 巳



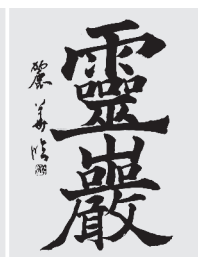
師範正  
竹本 松 華



師範正  
岡 紅 華



成家  
大島 溪 月



成家  
小野 麗 華

半紙随意 (臨書)・一般(硬筆)優秀作品 (2月末日締切分)



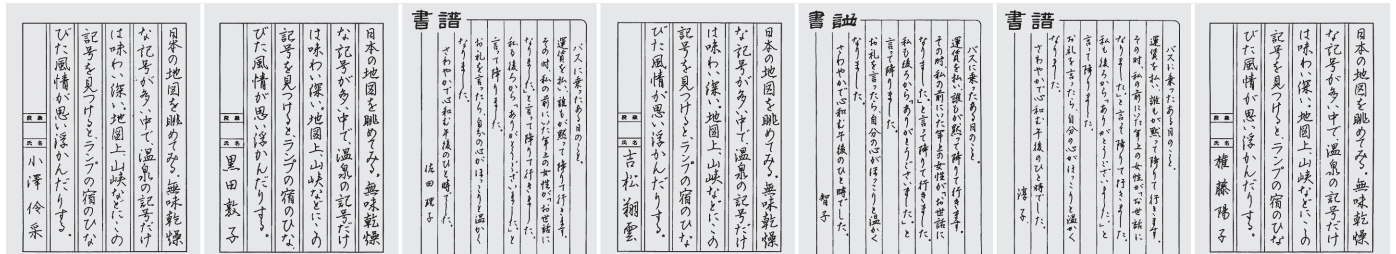
準師範 川元美峰 | 準師範 甲斐甲佳 | 師範 白石和子 | 師範 神尾理恵 | 師範 鈴木鶴聲 | 師範 由留裕美子 | 師範正 小川玉燁



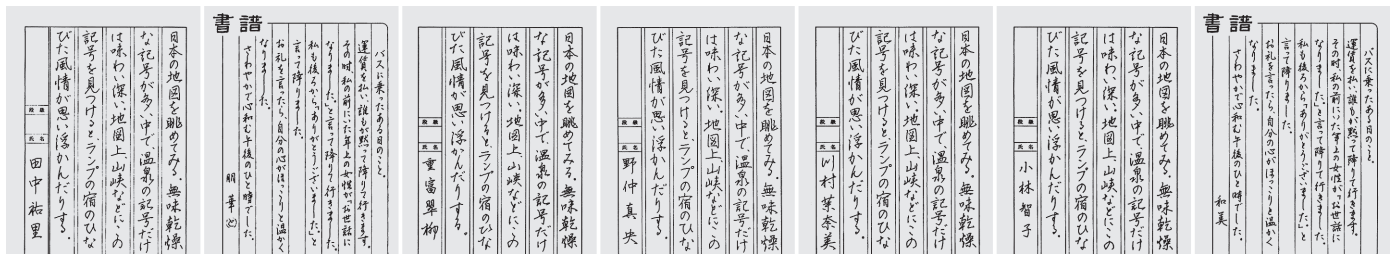
準二段 三宅愛子 | 準三段 甲田華泉 | 準三段 手島奈央 | 準四段 伊東京子 | 準五段 小川未鈴 | 準六段 竹野純一 | 六段 畑地環



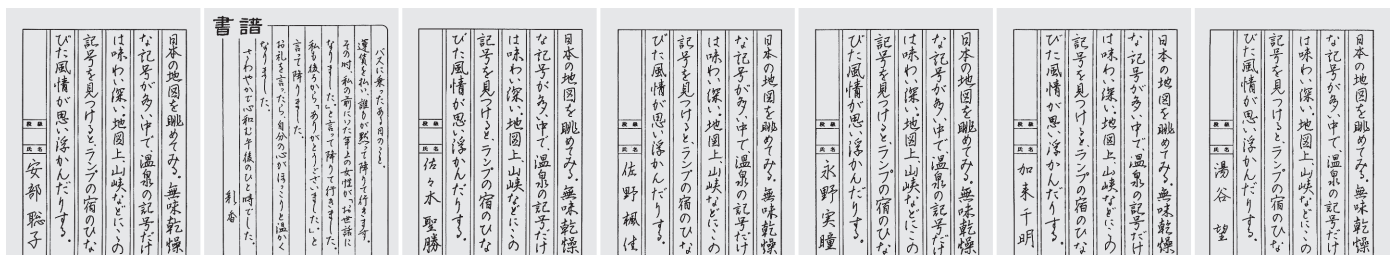
準6級 錦織孝枝 | 6級 福谷夏菜 | 準4級 千種真知子 | 4級 原田芳清 | 3級 添田晴美 | 準2級 岩屋こずえ | 準1級 松永留美



準六段 小澤伶采 | 六段 黒田敦子 | 準師範 佐田理子 | 準師範 吉松翔雲 | 師範 畑あずさ | 師範正 池田淳子 | 師範正 権藤陽子



二段 田中祐里 | 準三段 西村朋華 | 準三段 重富翠柳 | 三段 野仲真央 | 四段 川村茉奈美 | 準五段 小林智子 | 五段 白濱かずみ



準5級 安部聡子 | 4級 御手洗彩香 | 準2級 佐々木聖勝 | 準1級 佐野楓佳 | 準初段 永野実瞳 | 初段 加来千明 | 準二段 湯谷望

半紙優秀作品 (2月末日締切分)



準二段 山たきあやせ | 準8級 寺田りょう | 準8級 瀬貫道華 | 8級 藤井心都 | 準7級 藤山咲香 | 準5級 木村えみり | 5級 市丸かの



7級 森千とせ | 準6級 三宅紬生 | 準5級 坂口鈴香 | 準5級 池田康太 | 5級 廣瀬文音 | 5級 木村りさこ | 準4級 藤原莉菜



準3級 宮原奈緒 | 3級 大久保凜七 | 準2級 山本瑠夏 | 準1級 友松里歌子 | 準三段 道下慶汰 | 準8級 鈴木わ子 | 準8級 牟田さとみ



準6級 大庭夢叶 | 6級 森崎彩音 | 準5級 辻みはる | 5級 高橋望花 | 準4級 時永更紗 | 4級 橋本紗也加 | 4級 東一馬



準二段 富田優菜 | 二段 葉石花陽 | 三段 原田つむぎ | 四段 杉延優志 | 準五段 中尾葉奈 | 準7級 後藤瑠那 | 7級 永石暁一郎



3級 大和南風 | 準2級 吉田莉々杏 | 2級 千住優月絆 | 準1級 黒谷真寿実 | 1級 坂本翔 | 準初段 井上真ほ | 初段 樋口由莉



半紙優秀作品 (2月末日締切分)



四段 江藤美優  
準五段 折尾つばき  
準六段 甲斐ひより  
準六段 有川蒼真  
準五級 柿本はる  
準四級 山下晴  
4級 平川菜菜



3級 池田奈菜子  
準1級 戸田結愛  
準初段 黒川瑠子  
初段 濱結衣  
準二段 佐藤雄大  
二段 浦倫太郎  
準四段 柴田はるか



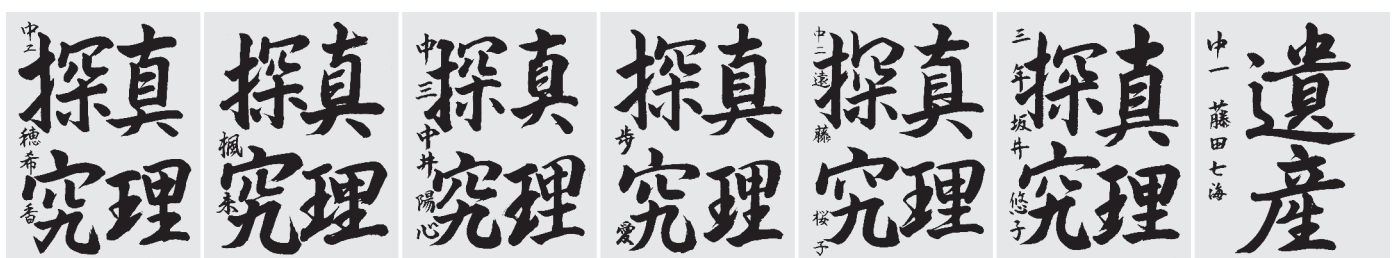
五段 松尾煌莉  
五段 田崎咲良  
準六段 栗原煌央  
準六段 吉富大駟己  
六段 稲永煌太  
六段 吉原愛真  
6級 伊東咲良



初段 中垣玖羽  
準三段 松岡深紅梨  
準三段 大谷結來菜  
三段 澁田知成  
三段 村石怜奏  
準四段 安田凜  
四段 小林一葵



準五段 小野崎紗央  
五段 松永奈子  
準六段 山崎葉月  
準六段 甲田空羽  
準特待生 木村菜波  
特待生 谷美智  
準初段 大羽悠貴



四段 古賀穂希香  
準六段 吉田楓未  
六段 中井陽心  
準特待生 岩川歩愛  
準特待生 遠藤桜子  
特待生 坂井悠子  
四段 藤田七海

# 硬筆優秀作品 (2月末日締切分)

ライオンの赤ち やんは、生まれた ときは、目や耳は とじたままです。 いちのせさら	ライオンの赤ち やんは、生まれた ときは、目や耳は とじたままです。 やのひかり	ライオンの赤ち やんは、生まれた ときは、目や耳は とじたままです。 市丸かの	ライオンの赤ち やんは、生まれた ときは、目や耳は とじたままです。 波多江珠月	ライオンの赤ち やんは、生まれた ときは、目や耳は とじたままです。 こんどうゆり	ライオンの赤ち やんは、生まれた ときは、目や耳は とじたままです。 一年わたるべゆあ 渡辺悠愛	ライオンの赤ち やんは、生まれた ときは、目や耳は とじたままです。 せんけはるぎ 善家悠稀
---	--	---	--	---	---	---

7 級  
一のせさら

準6級  
やのひかり

準6級  
市丸かの

準6級  
波多江珠月

6 級  
こんどうゆり

準5級  
渡辺悠愛

5 級  
善家悠稀

スーホは、二十頭 あまりのひつじを おって、広い草原 に出ていきました 秋原実莉	スーホは、二十頭 あまりのひつじを おって、広い草原 に出ていきました 岸川ゆり	スーホは、二十頭 あまりのひつじを おって、広い草原 に出ていきました 河野有紀也	スーホは、二十頭 あまりのひつじを おって、広い草原 に出ていきました 寺田りょう	スーホは、二十頭 あまりのひつじを おって、広い草原 に出ていきました しんたくなつな	スーホは、二十頭 あまりのひつじを おって、広い草原 に出ていきました 中はたゆいり	スーホは、二十頭 あまりのひつじを おって、広い草原 に出ていきました やましたさつき 山下さつき
--	--	---	---	---	--	--

2 級  
秋原実莉

2 級  
岸川ゆり

2 級  
河野有紀也

8 級  
寺田りょう

8 級  
新宅なつな

7 級  
中はたゆいり

7 級  
山下さつき

スーホは、二十頭 あまりのひつじを おって、広い草原 に出ていきました ギ、木いぶき	スーホは、二十頭 あまりのひつじを おって、広い草原 に出ていきました 本村ひなこ	スーホは、二十頭 あまりのひつじを おって、広い草原 に出ていきました 王しかん	スーホは、二十頭 あまりのひつじを おって、広い草原 に出ていきました 大和きせい	スーホは、二十頭 あまりのひつじを おって、広い草原 に出ていきました かとうかえで	スーホは、二十頭 あまりのひつじを おって、広い草原 に出ていきました 村上日向子	スーホは、二十頭 あまりのひつじを おって、広い草原 に出ていきました 矢野りゅう平
--	---	--	---	--	---	--

準6級  
材木いぶき

6 級  
本村陽菜心

6 級  
王しかん

6 級  
大和きせい

4 級  
かとうかえで

4 級  
村上日向子

3 級  
矢野りゅう平

使える言葉が多いと、自 分の気持ちによりびっ たり合う言葉をえらべ るようになります。 松尾千花	使える言葉が多いと、自 分の気持ちによりびっ たり合う言葉をえらべ るようになります。 尾崎心春	使える言葉が多いと、自 分の気持ちによりびっ たり合う言葉をえらべ るようになります。 大月悠生	使える言葉が多いと、自 分の気持ちによりびっ たり合う言葉をえらべ るようになります。 山崎茉奈	使える言葉が多いと、自 分の気持ちによりびっ たり合う言葉をえらべ るようになります。 蔡楚澄	使える言葉が多いと、自 分の気持ちによりびっ たり合う言葉をえらべ るようになります。 森崎優衣	使える言葉が多いと、自 分の気持ちによりびっ たり合う言葉をえらべ るようになります。 飯塚紘乃
--	--	--	--	---	--	--

2 級  
松尾千花

1 級  
尾崎心春

準初段  
大月悠生

準初段  
山崎茉奈

準二段  
蔡楚澄

準三段  
森崎優衣

準8級  
飯塚紘乃

使える言葉が多いと、自 分の気持ちによりびっ たり合う言葉をえらべ るようになります。 大庭夢叶	使える言葉が多いと、自 分の気持ちによりびっ たり合う言葉をえらべ るようになります。 田中愛莉	使える言葉が多いと、自 分の気持ちによりびっ たり合う言葉をえらべ るようになります。 羅本杏珠	使える言葉が多いと、自 分の気持ちによりびっ たり合う言葉をえらべ るようになります。 香月ひより	使える言葉が多いと、自 分の気持ちによりびっ たり合う言葉をえらべ るようになります。 渡辺咲都	使える言葉が多いと、自 分の気持ちによりびっ たり合う言葉をえらべ るようになります。 砂原美月	使える言葉が多いと、自 分の気持ちによりびっ たり合う言葉をえらべ るようになります。 野見山歌偉
--	--	--	---	--	--	---

5 級  
大庭夢叶

準4級  
田中愛莉

4 級  
羅本杏珠

準3級  
香月ひより

3 級  
渡辺咲都

準2級  
砂原美月

2 級  
野見山歌偉

自分の考えをはっきりさ せたり、文章の組み立てを 考えやすくするために分 かったことを整理しよう。 坂口美月	自分の考えをはっきりさ せたり、文章の組み立てを 考えやすくするために分 かったことを整理しよう。 西崎心晴	自分の考えをはっきりさ せたり、文章の組み立てを 考えやすくするために分 かったことを整理しよう。 吉富きい	自分の考えをはっきりさ せたり、文章の組み立てを 考えやすくするために分 かったことを整理しよう。 松本幸大	自分の考えをはっきりさ せたり、文章の組み立てを 考えやすくするために分 かったことを整理しよう。 森小夏	自分の考えをはっきりさ せたり、文章の組み立てを 考えやすくするために分 かったことを整理しよう。 平川菜菜	自分の考えをはっきりさ せたり、文章の組み立てを 考えやすくするために分 かったことを整理しよう。 山根由衣花
--	--	--	--	---	--	---

準1級  
坂口美月

1 級  
西崎心晴

初段  
吉富きい

準二段  
松本幸大

準三段  
森小夏

三段  
平川菜菜

準四段  
山根由衣花

硬筆優秀作品 (2月末日締切分)

自分の考えをばつぎりやせたり文章の組み立てを考えやすくするために分かったことを整理しよう。
...ふじ本美お

8級 藤本美桜

自分の考えをばつぎりやせたり文章の組み立てを考えやすくするために分かったことを整理しよう。
...山下真桜

7級 山下真桜

自分の考えをばつぎりやせたり文章の組み立てを考えやすくするために分かったことを整理しよう。
...井上侑香

準6級 井上侑香

自分の考えをばつぎりやせたり文章の組み立てを考えやすくするために分かったことを整理しよう。
...辻菜々美

5級 辻菜々美

自分の考えをばつぎりやせたり文章の組み立てを考えやすくするために分かったことを整理しよう。
...横尾優芽

準3級 横尾優芽

自分の考えをばつぎりやせたり文章の組み立てを考えやすくするために分かったことを整理しよう。
...池之上悠

準2級 池之上 悠

自分の考えをばつぎりやせたり文章の組み立てを考えやすくするために分かったことを整理しよう。
...樋口由莉

2級 樋口由莉

そんなある日たかしは道はたておさない兄弟がおにぎりを分け合って食べているのを見た。服はよこれていて二人とも幸せそうに笑っていた。
...川村仁蒼

準三段 川村仁蒼

そんなある日たかしは道はたておさない兄弟がおにぎりを分け合って食べているのを見た。服はよこれていて二人とも幸せそうに笑っていた。
...折尾つばき

三段 折尾つばき

そんなある日たかしは道はたておさない兄弟がおにぎりを分け合って食べているのを見た。服はよこれていて二人とも幸せそうに笑っていた。
...井元めい

準四段 井元めい

そんなある日たかしは道はたておさない兄弟がおにぎりを分け合って食べているのを見た。服はよこれていて二人とも幸せそうに笑っていた。
...武藤圭凜

四段 武藤圭凜

そんなある日たかしは道はたておさない兄弟がおにぎりを分け合って食べているのを見た。服はよこれていて二人とも幸せそうに笑っていた。
...樋口里依咲

準五段 樋口里依咲

そんなある日たかしは道はたておさない兄弟がおにぎりを分け合って食べているのを見た。服はよこれていて二人とも幸せそうに笑っていた。
...右近優衣

五段 右近優衣

そんなある日たかしは道はたておさない兄弟がおにぎりを分け合って食べているのを見た。服はよこれていて二人とも幸せそうに笑っていた。
...松尾恵大

準六段 松尾恵大

日本にはもともと文字がありませんでした。そこでやまと言葉(和語)を書き表すために中国から伝わった漢字を利用する方法が考え出されました。
...種本優菜

準六段 種本優菜

日本にはもともと文字がありませんでした。そこでやまと言葉(和語)を書き表すために中国から伝わった漢字を利用する方法が考え出されました。
...中嶋良々

準六段 中嶋良々

日本にはもともと文字がありませんでした。そこでやまと言葉(和語)を書き表すために中国から伝わった漢字を利用する方法が考え出されました。
...藤渡柚朱

六段 藤渡柚朱

日本にはもともと文字がありませんでした。そこでやまと言葉(和語)を書き表すために中国から伝わった漢字を利用する方法が考え出されました。
...田島結愛

準7級 田島結愛

日本にはもともと文字がありませんでした。そこでやまと言葉(和語)を書き表すために中国から伝わった漢字を利用する方法が考え出されました。
...野中瑚花

準4級 野中瑚花

日本にはもともと文字がありませんでした。そこでやまと言葉(和語)を書き表すために中国から伝わった漢字を利用する方法が考え出されました。
...池田奈菜子

準3級 池田奈菜子

日本にはもともと文字がありませんでした。そこでやまと言葉(和語)を書き表すために中国から伝わった漢字を利用する方法が考え出されました。
...永翁穂乃

初段 永翁穂乃

日本にはもともと文字がありませんでした。そこでやまと言葉(和語)を書き表すために中国から伝わった漢字を利用する方法が考え出されました。
...磯田舞桜

準二段 磯田舞桜

日本にはもともと文字がありませんでした。そこでやまと言葉(和語)を書き表すために中国から伝わった漢字を利用する方法が考え出されました。
...大谷結來菜

準三段 大谷結來菜

日本にはもともと文字がありませんでした。そこでやまと言葉(和語)を書き表すために中国から伝わった漢字を利用する方法が考え出されました。
...松岡深紅梨

三段 松岡深紅梨

日本にはもともと文字がありませんでした。そこでやまと言葉(和語)を書き表すために中国から伝わった漢字を利用する方法が考え出されました。
...瀬古紗友希

準四段 瀬古紗友希

日本にはもともと文字がありませんでした。そこでやまと言葉(和語)を書き表すために中国から伝わった漢字を利用する方法が考え出されました。
...篠崎真綾

準四段 篠崎真綾

日本にはもともと文字がありませんでした。そこでやまと言葉(和語)を書き表すために中国から伝わった漢字を利用する方法が考え出されました。
...本田彩菜

四段 本田彩菜

日本にはもともと文字がありませんでした。そこでやまと言葉(和語)を書き表すために中国から伝わった漢字を利用する方法が考え出されました。
...沖ほのか

五段 沖ほのか

広大な宇宙という漆黒の海にぼかりと浮かぶ青い生命の島地球。その森を破壊し尽くしたとき、その先に待っているのはアイスタイ島と同じ飢餓地獄である。
...山根美咲

六段 山根美咲

広大な宇宙という漆黒の海にぼかりと浮かぶ青い生命の島地球。その森を破壊し尽くしたとき、その先に待っているのはアイスタイ島と同じ飢餓地獄である。
...和田千壽

六段 和田千壽

広大な宇宙という漆黒の海にぼかりと浮かぶ青い生命の島地球。その森を破壊し尽くしたとき、その先に待っているのはアイスタイ島と同じ飢餓地獄である。
...大場理世

六段 大場理世

広大な宇宙という漆黒の海にぼかりと浮かぶ青い生命の島地球。その森を破壊し尽くしたとき、その先に待っているのはアイスタイ島と同じ飢餓地獄である。
...吉村彩芭

準特待生 吉村彩芭

広大な宇宙という漆黒の海にぼかりと浮かぶ青い生命の島地球。その森を破壊し尽くしたとき、その先に待っているのはアイスタイ島と同じ飢餓地獄である。
...蕨野里香

特待生 蕨野里香

広大な宇宙という漆黒の海にぼかりと浮かぶ青い生命の島地球。その森を破壊し尽くしたとき、その先に待っているのはアイスタイ島と同じ飢餓地獄である。
...木村瑛菜

特待生 木村瑛菜

広大な宇宙という漆黒の海にぼかりと浮かぶ青い生命の島地球。その森を破壊し尽くしたとき、その先に待っているのはアイスタイ島と同じ飢餓地獄である。
...三好海歩

準初段 三好海歩

広大な宇宙という漆黒の海にぼかりと浮かぶ青い生命の島地球。その森を破壊し尽くしたとき、その先に待っているのはアイスタイ島と同じ飢餓地獄である。
...村山優海

準二段 村山優海

広大な宇宙という漆黒の海にぼかりと浮かぶ青い生命の島地球。その森を破壊し尽くしたとき、その先に待っているのはアイスタイ島と同じ飢餓地獄である。
...西咲希菜

二段 西咲希菜

広大な宇宙という漆黒の海にぼかりと浮かぶ青い生命の島地球。その森を破壊し尽くしたとき、その先に待っているのはアイスタイ島と同じ飢餓地獄である。
...吉田広美

三段 吉田広美

広大な宇宙という漆黒の海にぼかりと浮かぶ青い生命の島地球。その森を破壊し尽くしたとき、その先に待っているのはアイスタイ島と同じ飢餓地獄である。
...向井嘉音

準四段 向井嘉音

広大な宇宙という漆黒の海にぼかりと浮かぶ青い生命の島地球。その森を破壊し尽くしたとき、その先に待っているのはアイスタイ島と同じ飢餓地獄である。
...松村果林

準五段 松村果林

広大な宇宙という漆黒の海にぼかりと浮かぶ青い生命の島地球。その森を破壊し尽くしたとき、その先に待っているのはアイスタイ島と同じ飢餓地獄である。
...松本涉

五段 松本涉

広大な宇宙という漆黒の海にぼかりと浮かぶ青い生命の島地球。その森を破壊し尽くしたとき、その先に待っているのはアイスタイ島と同じ飢餓地獄である。
...田中綾音

準六段 田中綾音